

別表(1)

教育課程及び授業日時数

ファッションデザイン科

課 程		専 門 課 程			単 位 表 示			
		学 科	ファッションデザイン科			第1学年	第2学年	第3学年
科 目		第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年	
一般科目	1 コミュニケーション活動Ⅰ	30			1			
	2 コミュニケーション活動Ⅱ		30			1		
	3 コミュニケーション活動Ⅲ			30			1	
専門科目	4 服飾造形ⅠA	30			1			
	5 服飾造形ⅠB	30			1			
	6 服飾造形ⅠC	90			3			
	7 服飾造形ⅠD	90			3			
	8 服飾造形ⅠE	90			3			
	9 服飾造形ⅠF	90			3			
	10 服飾造形Ⅱ		120			4		
	11 パターンメイキングⅠ	120			4			
	12 パターンメイキングⅡ		90			3		
	13 パターンメイキングⅢ			90			3	
	14 ドレーピングⅠ	30			1			
	15 ドレーピングⅡ		60			2		
	16 アパレルCADⅠ		30			1		
	17 アパレルCADⅡ			30			1	
	18 デッサン	30			1			
	19 ファッションデザイン画ⅠA	60			2			
	20 ファッションデザイン画ⅠB	30			1			
	21 ファッションデザイン画Ⅱ		60			2		
	22 ファッションデザイン画Ⅲ			60			2	
	23 アパレル素材論Ⅰ	60			2			
	24 アパレル素材論Ⅱ		30			1		
	25 色彩学Ⅰ	60			2			
	26 色彩学Ⅱ		60			2		
	27 ファッションビジネス論	30			1			
	28 マーケティング		30			1		
	29 モード史	30			1			
	30 デザイン発想		30			1		
	31 デザインアプリケーションⅠ	30			1			
	32 デザインアプリケーションⅡ		30			1		
	33 接遇マナーⅠ		30			1		
	34 接遇マナーⅡ			30			1	
	35 ポートフォリオ制作		30			1		
	36 生産企画実習		90			3		
	37 クリエーション		120			4		
	38 S P A 企画		60			2		
	39 S P A 実習			60			2	
	40 S P A 製作			210			7	
	特別科目	41 キャリアプランⅠ	30			1		
		42 キャリアプランⅡ		30			1	
		43 産学連携プロジェクト	30			1		
44 卒業制作企画				60			2	
45 卒業制作				360			12	
46 卒業制作演出				30			1	
47 ファッションデザイン特別実習Ⅰ		30			1			
48 ファッションデザイン特別実習Ⅱ			30			1		
49 ファッションデザイン特別実習Ⅲ				30			1	
選択科目		50 研修旅行		60			2	
		51 ボランティア活動Ⅰ		60			2	
		52 ボランティア活動Ⅱ			60			2
		53 インターンシップⅠ		60			2	
		54 インターンシップⅡ			60			2
		55 チャレンジプログラムⅠ	30			1		
		56 チャレンジプログラムⅡ		30			1	
		57 チャレンジプログラムⅢ		30			1	
		58 チャレンジプログラムⅣ			30			1
		59 チャレンジプログラムⅤ			30			1
単 位 合 計					34	34	33	
年 間 履 修 時 間		1020	1020	990				
年 間 授 業 日 数		180	180	180				

注) 選択科目は2年次において60時間以上履修しなければならない

シラバス(授業概要)			年度	2020年度	
			時間数は45分換算	科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
コミュニケーション活動 I		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	戸村 寿恵子
授業の目的・目標					
美術館や企画展・展示会などの鑑賞や他校の卒制等を視察して視野を広げる。造形授業で使用する素材の調達と研修を行う。					
授業の概要					
各種プログラムを通して、感性の向上とコミュニケーションの重要性を理解し相手に考えや意思を伝え合うことを学ぶ。					
成績評価の方法					
参加意欲や姿勢・レポートなど総合的に評価する。				平常点	50%
				レポート	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 素材研修 (日暮里生地問屋街・新宿オカダヤ)			10		
2. ファッションリサーチ (渋谷または新宿)			5		
3. ファッション研修(文化服装学院)			5		
4. テキスタイルジャパン展示会			5		
5. 球技大会など			5		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
			時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態	学科・コース			
服飾造形 I A・服飾造形 I B		実習	ファッションデザイン科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	60	2	安藤明子・戸村寿恵子	
授業の目的・目標						
作品制作の基になる人体を知り、縫製時作品制作をスムーズに行えるようにする						
授業の概要						
服造りにおいて、縫製時に使用する基本的な道具の使い方・基礎的な手縫いのテクニック・各始末の仕方などを学習し身につける。 また、手縫いで、基型を補正して自身に合った原型を作る。						
成績評価の方法						
授業に取り組む姿勢・提出物に対する取り組み 提出期限等を総合的に評価する。					学習意欲	60%
					提出物	40%
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系①服飾造形の基礎 洋裁道具一式 A3ファイル						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1	道具の説明、用布・しつけ糸の準備	4	8	仮縫い・補正	6	
	置きじつけ・並縫い・指ぬきの使い方 流しまつり	4	9	実物原型・1/4原型の型制作	2	
2	使用糸のろう引きの仕方 スナップ・ホック・ボタン付け 糸ループ	6				
3	ミシン ステッチ定規の使い方 直線・ジグザグ・曲線縫い 端ミシン・三つ折ミシン・袋縫い	6				
4	女子原型 1/4製図	4				
5	男子原型 1/4製図	4				
	採寸・実物製図	4				
6	シーチングトレース・裁断・印しつけ	4				
7	組み立て①ダーツ②背中③肩④脇 ⑤裾⑥前中心⑦衿ぐり・袖ぐり	16				
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
			時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
服飾造形 I C		実習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	90	3	安藤 明子	
授業の目的・目標						
シャツについての基礎知識を踏まえて、その基本構造・基本製図・合理的な縫製法を身に付ける。						
授業の概要						
シャツの歴史・デザイン・ディテールを学び、自身の原型を使用してオリジナルデザインを製図し、仮縫い・補正の後、縫製する。						
成績評価の方法						
作品の完成度・課題の提出及び提出期限・授業に対する取り組み等を総合的に評価する。				学習意欲	40%	
				課題	40%	
				提出期限	20%	
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系 服飾造形講座③ブラウス・ワンピース A4無地ルーズリーブ A4リングファイル 洋裁道具一式						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 基礎知識			10			
2. 基本シャツ製図			10			
3. 自身デザイン 1/4製図 実物製図			12			
4. シーチング仮縫い 裁断・組立			10			
5. 仮縫い・補正・パターン			12			
6. 表地・芯地、裁断・印しつけ			4			
7. 本縫い①ポケット・左右前身頃・後身頃			6			
8. ②ヨーク付け			2			
9. ③衿づくり・衿付け			6			
10. 部分縫い 剣ボロ			4			
11. 本縫い④剣ボロ・袖づくり			4			
12. ⑤カフスづくり・付け			4			
13. ボタンホール・ボタン付け			4			
14. まとめ・アイロン・工程表・仕様書			2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
服飾造形 I D			実習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	90	3	安藤 明子	
授業の目的・目標						
スカートの基礎と製図の仕方・デザイン展開・縫製法を身に付ける。						
授業の概要						
基本的なタイトスカートを製図し補正して、体に合わせた原型を作る。 またそれを使用してデザイン展開されたスカートを制作。 授業内容を資料としてまとめる。						
成績評価の方法						
作品の完成度・課題の提出状況及び提出期限 授業に対する取り組み等を総合して評価する。					学習意欲	40%
					課題	40%
					提出期限	20%
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系 ②スカート・パンツ A3クリアファイル A4リングファイル A4 ルーズリーフ (無地) ケント紙 洋裁道具一式						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1	基礎知識		10			
2	基本タイトスカート 1/4製図		6			
3	採寸・自身1/4製図・実物製図		10			
4	基本からのデザイン展開 (プリーツ・ギャザー・フレアーなど)		12			
5	シーチングでの仮縫い・補正		20			
6	自身デザイン製図・パターン作り		6			
7	裁断・芯貼・ロックミシン		6			
8	部分縫い フラットファスナー付け		3			
9	本縫い①後ろ中心ファスナー付け ②脇・裾 ③ベルト作り・ベルト付け ④かぎホック付け		15			
10	まとめ・アイロン・工程表・仕様書		2			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名		授業形態	学科・コース			
服飾造形 I E		実習	ファッションデザイン科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	90	3	安藤 明子	
授業の目的・目標						
丈や分量を考えてデザインすること、裏地付けの意味や扱い、また袖の付け方を身に付ける。						
授業の概要						
ワンピースについての基本を学んだ後、一般的な製図を応用して各自のデザインを制作。						
成績評価の方法						
作品の完成度・課題の提出状況・授業に対する取り組みを総合して評価する。				学習意欲	40%	
				課題	40%	
				提出期限	20%	
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系③ブラウス・ワンピース A3クリアファイル A4リングファイル ケント紙 A4無地ルーズリーフ 洋裁道具一式						
授業内容・授業計画						
		時間数			時間数	
1	基礎知識	2		⑥中とじ・身頃袖ぐり		
2	プリンセス・パネルライン1/4製図	5		⑦袖づくり・袖付け		
3	自身デザイン1/4製図 実物製図	14	9	まとめ・アイロン・工程表・仕様書	4	
4	仮縫い 裁断・組立 仮縫い・補正	20				
5	表布パターン・裁断・芯貼・ロックミ	6				
6	裏布パターン・裁断・印しつけ	4				
7	部分縫い①コンシールファスナー裏付け ②フラットファスナー裏付け	5				
8	本縫い①表ファスナー付け ②表切替・脇・裾 ③裏見返し・裏布作り ④ファスナー裏地付け ⑤衿ぐり始末	30				
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
			時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
服飾造形 I F		実習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	90	3	安藤 明子	
授業の目的・目標						
パンツの基礎と、制作の一連の流れを理解し、パンツ制作を身につける。						
授業の概要						
パンツの基本的な構造を学び、作図・仮縫いを経て体に合わせたパンツを縫製する。						
成績評価の方法						
作品の完成度・課題の提出期限・授業に対する取り組みなどを総合的に評価する。					学習意欲	40%
					課題	40%
					提出期限	20%
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系②スカート・パンツ、洋裁道具一式 A3クリアファイル・A4リングファイル・A4ルーズリーフ(無地)・ケント紙						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	基礎知識		2	12.	本縫い②ファスナー付け・股ぐり	6
2.	基本ストレートパンツ製図		6	13.	③ベルト作り・ベルト付け	4
3.	デザイン展開①ストレートパンツ →フレアー・ワイドパンツへ		9		ボタンホール・ボタン付け	2
4.	デザイン展開②スリムパンツ →スキニー・ベルボトムパンツ		9		まとめ・アイロン 工程表・仕様書	2
5.	採寸・デザイン・1/4製図・実物製図		10			
6.	シーチング仮縫い 裁断・組立 補正・パターン		8 12			
7.	表布裁断・印しつけ・芯貼・ロツ		4			
8.	部分縫い①脇ポケット		4			
9.	②サイドシームポケット		4			
10.	本縫い①ポケット・脇・股下・裾		4			
11.	部分縫い③ファスナー付け		4			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度		2020年度		
			時間数は45分換算		科目コード		
授業科目名			授業形態		学科・コース		
パターンメイキング I			実習		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通期	必修	120	4	中本 悦司		
授業の目的・目標							
基本的なブラウス・スカートのデザインをパターンに落とし込むことができるようになる。							
授業の概要							
既製服の流れを知り、パターンメイキングの基礎を習得する。							
成績評価の方法							
1. 課題 (提出率と提出された課題完成度)					課題	50%	
2. 平常点 (主体的な授業参加度)					平常点	30%	
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)					学習意欲	20%	
これらを総合的に評価した上で決定する。							
使用テキスト・教材							
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック、配布プリント							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	既製服の概念			16.	スカート2		6
2.	(用具、用語、J I S企画)		4	17.			
3.				18.	工業用パターンメイキング		12
4.	ファーストパターンメイキング		15	19.			
5.	(原型について、原型作り)			20.	グレーディング		20
6.	ダーツ展開1		15	21.			
7.				22.	デザインブラウス		20
8.	ダーツ展開2		10	23.			
9.							
10.	ディテール (衿)		6				
11.							
12.	ディテール (袖)		6				
13.							
14.	スカート1		6				
15.							
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。			服飾造形、ドレーピング、アパレル素材論				
※実務経験のある教員が担当する科目である。			アパレルCAD				

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ドレーピング I			実習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	中本 悦司	
授業の目的・目標						
立体裁断と平面製図の違いを理解できるようにし、製図時に応用できるようになる。						
授業の概要						
ドレーピングの基礎を習得。 ドラフティングすることにより、人体構造が理解できる。 デザインをパターンに落としこむことを容易にする。						
成績評価の方法						
1. 課題 (提出率と提出された課題完成度)					課題	50%
2. 平常点 (主体的な授業参加度)					平常点	30%
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)					学習意欲	20%
これらを総合的に評価した上で決定する。						
使用テキスト・教材						
パターンメイキング技術検定3級ガイドブック、配布プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 立体裁断と平面製図の違いについて			4			
2. 道具、シーチングの扱い方						
3. ベーシックスローパー			4			
4. (ストレート型)						
5. ベーシックスローパー			4			
6. (タイト型)						
7. タイトスカート			4			
8.						
9. ブラウス (身頃)			4			
10.						
11. ブラウス (衿)			4			
12.						
13. ブラウス (袖)			4			
14.						
15. ブラウス組立て			2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			パターンメイキング、服飾造形			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
デッサン		講義・演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	時田 智弘
授業の目的・目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィジュアルリサーチ、アイデア+デザイン発展、表現の基礎を身につける。 ・デザインアイデアをどのようにして発展させファッションデッサンするか研究する。 					
授業の概要					
デザインデッサンをする上での基本となる考え方やアプローチの仕方を学ぶ。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出、学習意欲 				学習意欲	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 授業ガイダンス			5		
2. デザイン実習			25		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ファッションデザイン画 I A			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	大谷 順	
授業の目的・目標						
ファッションデザイン画の基礎を習得する。 様々な着装・素材・発想表現が出来る。						
授業の概要						
基本プロポーションから着装表現、オリジナルデザインの展開を総合的に習得し、 発想表現からミニポートフォリオを制作する。						
成績評価の方法						
課題評価と学習意欲による点数。					学習意欲	20%
					課題	80%
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系ファッションデザイン画、資料プリント、ケント紙、彩色用具						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	授業説明・基本プロポーション練習		2	16	発想練習2	2
2.	基本プロポーション習得		2	17	発想練習3	2
3.	アイテム図 1		2	18	発想練習4	2
4.	重心の移動したヌードを描く		2	19	ミニポートフォリオ作成	2
5.	斜めからヌードを描く		2	20	ミニポートフォリオ仕上げ	2
6.	写真のヌードを8頭身にする		2			
7.	着装表現 写真ポーズ		2			
8.	着装表現 ベーシックドレス		2			
9.	手、足、顔の書き方		2			
10.	オリジナルデザイン 着色		2			
11.	ファッション画作成		8			
12.	ファッション画仕上げ		4			
13.	素材表現		8			
14.	アイテム図 2		8			
15.	発想練習 1		2			
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
ファッションデザイン画 I B			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	30	1	カルフォ香奈	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィジュアルリサーチ、アイデア+デザイン発展、表現の基礎を身につける。 ・デザインアイデアをどのようにして発展させファッションにしていくか研究する。 ・スケッチブックの活用の仕方を学ぶ。 ・自分の得意なことを見つけ、興味の幅や考える力をつける。 						
授業の概要						
<p>デザインをする上での基本となる考え方やアプローチの仕方を学ぶ。 それぞれのプロジェクトを、発想力、構成力、表現力という3つの側面から学習し、 自分自身のオリジナリティを追求していく。 人への伝え方をプレゼンテーションを通して身につけていく。</p>						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出 (作品の完成度、スケッチブックの内容) ・学習意欲 					課題	70%
					学習意欲	30%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料、スケッチブック、ケント紙、絵具ほか画材 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	デザインの考え方基礎		2			
2.	アイデアをコラージュでまとめる		2			
3.	即興デッサン、ドローイング		6			
4.	カタチで遊ぶ、建築		5			
5.	線と立体、リサーチ					
6.	1枚布で表現、発展					
7.	ドローイング、					
8.	プレゼンテーション (課題提出)		2			
9.	色とパターン、Surrealism		5			
10.	プリントデザイン発展					
11.	プリント版制作、布にプリント					
12.	服を制作					
13.	プレゼンテーション (課題提出)		2			
14.	ポートフォリオ作成		6			
その他			関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
			時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態	学科・コース			
アパレル素材論 I		講義	ファッションデザイン科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	金原 陽子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・アパレル製品の欠くことが出来ない要素である『素材』に興味をもち、以後研鑽していこうとする動機付けをする。 ・様々な素材の物性・感性を理解することで、他の教科にも得た知識を活用することが出来る。 						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・繊維から布地・製品になるまで、各過程の流れを知る。 ・前半は物性を中心に基本的知識を学ぶ。 ・後半では、特殊素材の知識を学び、また小作品を製作しながら、素材表現を工夫してみる。 						
成績評価の方法						
1. 試験・課題 (期末試験点数、実習課題の完成度)					試験・課題	65%
2. 平常点 (主体的授業参加度)					平常点	20%
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) これらの観点より総合的に評価する。					学習意欲	15%
使用テキスト・教材						
アパレル素材論 (文化服装学院編) テキスタイルハンドブック (文化出版局) 資料プリント ルーペ ファイル スティックのり テープ ハサミ						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	品質表示①		2	16	意匠糸①	2
2.	品質表示②		2	17	意匠糸② 織り実習説明	2
3.	繊維～糸～布地に加工される流れ ①		2	18	織り実習①	2
4.	繊維～糸～布地に加工される流れ ②		2	19	織り実習②	2
5.	織物三原組織		2	20	布地の変化組織	2
6.	編物三原組織		2	21	布地の仕上げ加工①	2
7.	天然繊維 (綿麻) ①		2	22	布地の仕上げ加工②	2
8.	天然繊維 (綿麻) ②		2	23	ニット (ヨコ) 製品について	2
9.	天然繊維 (毛絹) ①		2	24	天然皮革・人工皮革①	2
10.	天然繊維 (毛絹) ②		2	25	天然皮革・人工皮革②	2
11.	化学繊維①		2	26	毛皮・羽毛	2
12.	化学繊維②		2	27	フォーマル素材	2
13.	化学繊維③		2	28	課題実習①	2
14.	カットソー素材①		2	29	課題実習②	2
15.	カットソー素材②前期末試験		2	30	後期末試験 課題実習③	2
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
時間数は45分換算				科目コード	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
色彩学 I		講義		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	60	2	大橋 としみ
授業の目的・目標					
デザインで重要な役割を果たす「デザインの色彩」を色彩検定3級のテキストを学習することで、カラーコーディネイトに関わりのある色の世界を理解する。また講義をもとに実習課題を通し、目的に合ったカラーコーディネイトが表現、伝達ができるようになる。					
授業の概要					
『色』は私たちの日常生活に溢れ、また幅広く活用されるものでもあります。色彩に関してその性質や本質を体系的に学習してゆくとともに、配色技法を習得し演習を行うことで色の微妙な識別判断、心理効果、色彩表現を体験的に学習できる。					
成績評価の方法					
1. 課題 (提出された課題の完成度と提出率)				課題	35%
2. 平常点 (主体的な授業参加度)				平常点	30%
3. 学習意欲 (積極性、模擬試験、検定結果を含む)				学習意欲	35%
※未提出の実習課題(宿題)があった場合は不合格とする					
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩公式テキスト3級 ・A4クリアファイル (20P以上) ・演習台紙 ・配色カード199b ・はさみ ・ステックのり 					
授業内容・授業計画					
					時間数
1 ガイダンス					2
2.3 色の表示①/色の三属性・体系的な色の捉え方・色相環					4
4.5 色の表示②/色の分類と整理法・言葉による色の表現方法(実習課題)					4
6.7 色のイメージを理解する/色彩心理と色彩感情(カラーコミュニケーション)					4
8.9 色を見るための条件/色を感じる目の仕組み・照明と色の見え方・混色					4
10.11 色の視覚効果/色の対比と同化現象(実習課題)					4
12 ユニバーサルデザインについて					2
13.14 色彩調和について①/色相に基づいた配色・トーンに基づいた配色					4
15.16 色彩調和について②/グラデーション・アクセントカラー・セパレーション					4
16.17 インテリアと色彩/色彩計画の諸条件					4
18.19 ファッションと色彩/デザインにおける配色の応用					4
20~23 カラーイメージと配色(実習課題)					6
24.25 弱点強化					4
26 直前対策					2
27~30 模擬試験					8
その他				関連科目	
欠席者には使用したプリントを翌週渡します。解答については出席者に聞くか、自らテキストを読んで記入すること。当日欠席により課題提出が遅れる場合は事前受付します。携帯電話の電源は切り、カバンにしまっておくこと。					

シラバス(授業概要)				年度	2020年度	
				科目コード		
授業科目名			授業形態	学科・コース		
ファッションビジネス論			講義	ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通期	必修	30	1	菅 麻紀	
授業の目的・目標						
<p>多様化する社会的需要に応じて、ファッションの役割を様々な視点で学び、業界の基礎知識の理解と産業構造を把握する。 併せて、専門業務の紹介とともに職種選択の指針とする。</p>						
授業の概要						
<p>広範囲な領域のファッションビジネスが包含するファッション産業構造を理解する。</p>						
成績評価の方法						
<p>1. 平常点 (主体的授業参加度) 2. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢) これらの観点より総合的に評価する。</p>					平常点	40%
					学習意欲	60%
使用テキスト・教材						
文化ファッション大系ファッションビジネス・映像資料・プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	広義的ファッションとトレンド		4			
2.						
3.	ファッションビジネスの変遷					
4.	社会経済カルチャーとの紐付け					
5.	戦後から現代まで		10			
6.						
7.						
8.	テキスタイル産業の構造		4			
9.	繊維商社 産地					
10.	アパレル産業の構造					
11.	アパレルメーカーの業務と職種		8			
12.						
13.	小売業の構造		2			
14.	リテール業態と新業態					
15.	ファッション業界の今後の課題		2			
その他				関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
			時間数は45分換算			
授業科目名		授業形態		学科・コース		
モード史		講義		ファッションデザイン科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	金原 陽子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> 自己表現の手段としての『衣服』であるが、その時々々の社会環境や生活者の思いが表現されたツールでもある。紐解きながら、衣服を再確認する。 過去のテキスタイル技法、縫製技法などを知る。 						
授業の概要						
各時代ごとの資料プリントと教科書で、服飾文化の変遷を辿り、『衣服』がその時々々の社会構造、人々の考えなどを反映したものであることを意識して学ぶ。						
成績評価の方法						
1. 試験 (期末試験点数)				試験	65%	
2. 平常点 (主体的授業参加度)				平常点	20%	
3. 学習意欲 (学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢)				学習意欲	15%	
これらの観点より総合的に評価する。						
使用テキスト・教材						
西洋服装史 (文化服装学院編)、資料プリント						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1	衣服の起源 古代の服飾①		2			
2	古代の服飾②		2			
3	中世の服飾①		2			
4	中世の服飾②		2			
5	中世の服飾③		2			
6	近世の服飾①		2			
7	近世の服飾②		2			
8	近世の服飾③		2			
9	近世の服飾④		2			
10	近代の服飾①		2			
11	近代の服飾②		2			
12	近代の服飾③		2			
13	現代の服飾①		2			
14	現代の服飾②		2			
15	現代の服飾③ 期末試験		2			
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
デザインアプリケーション I			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	鈴木 栄人	
授業の目的・目標						
illustratorの基本を理解し、ハンガーイラストやデザイン画を描くことが出来るようになる。						
授業の概要						
adobe社のillustratorの基本的な使い方を、ハンガーイラストやデザイン画を描くことによって理解する。						
成績評価の方法						
1. 提出された課題 2. 平常点 (授業に取り組む姿)					平常点	40%
					課題	60%
使用テキスト・教材						
提供教材						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション illustratorと使い方		2			
2.	ツールの使い方1 (長方形・楕円・多角形ツール)		2			
3.	ツールの使い方2(パネルの使い方・ライブシェイプ・バウンディングボックス)		2			
4.	ツールの使い方3 (拡大・縮小、回転、傾斜、反転変形)		2			
5.	アイテム画の描き方1 (ペンツールの使い方・演習)		4			
6.						
7.	ハンガーイラストのトレース方法		4			
8.						
9.	イラスト画の色付け方法		4			
10.						
11.	テキストスタイルパターンの作成1 (円を使ったデザイン)		4			
12.	テキストスタイルパターンの作成2 (線を使ったデザイン)		4			
13.	課題製作		4			
14.						
15.	課題評価		2			
その他				関連科目		
※单元ごとと演習課題を実施する。						

シラバス(授業概要)			年度	2020年度			
			時間数は45分換算	科目コード			
授業科目名		授業形態		学科・コース			
キャリアプラン I		演習		ファッションデザイン科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	菅 麻紀		
授業の目的・目標							
①コミュニケーション能力を高める ②社会人としての基本的マナーを身につける ③自分らしさの発見とスキルアップ ④就職に必要な提出書類の作成							
授業の概要							
社会人に必要な基本的ビジネスマナーを学ぶことで、今後の学生生活における心構えを身につける。 コミュニケーション能力を強化し、今後の就職活動における面接に備える。							
成績評価の方法							
授業態度・課題提出など総合的に判断する。				平常点	30%		
				課題	20%		
				学習意欲	50%		
使用テキスト・教材							
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等資料							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. 働くとは 企業の求める人材			3				
2. ビジネスマナーとは 職場のマナーとは			3				
3. 第一印象の重要性 服装と身だしなみ			3				
4. 動作・所作確認 あいさつ練習			3				
5. コミュニケーションとは 非言語・準言語			3				
6. 信頼される言葉遣い 相手軸の言葉			3				
7. 敬語の基本 よく使う改まり語 肯定表現			3				
8. キャリアとは 今後の就活流れ 企業の採用基準			3				
9. 情報収集 顕在求人と潜在求人 求人表の見方			3				
10. エントリーシートに備える 学校生活でネタを作る			3				
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。							

シラバス(授業概要)			年度	2020年度		
			科目コード			
授業科目名			授業形態		学科・コース	
産学連携プロジェクト			演習		ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	カルフォ香奈・戸村寿恵子	
授業の目的・目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・リサーチからアイデア発展させデザインを形にする方法を研究する。 ・自分たちが作るモノを買ってもらおう体験して、デザインを売るという意識を持つ。 ・地域のイベントに参加し、クリエイションを通して人との関わりを楽しむ。 						
授業の概要						
<p>毎年恒例と成っている伝馬町夏祭りでの作品販売。 テーマから受けるインスピレーションからリサーチをして デザインに発展させ、オリジナルのテキスタイルでTシャツを制作する。</p>						
成績評価の方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・課題提出（作品、スケッチブック） ・学習意欲 					課題	80%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料、スケッチブック、ケント紙、絵具ほか画材 						
授業内容・授業計画						
			時間数			
1. 講座概要説明、 スケッチブックの準備			2			
2. リサーチ+アイデア出し ドローイング			2			
3. アイディアをテキスタイルに発展			6			
4. 作品制作			16			
5. 全体作品プレゼン			2			
6. 販売準備			2			
その他			関連科目			

シラバス(授業概要)				年度	2020年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態	学科・コース	
ファッションデザイン特別実習 I			演習	ファッションデザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通期	必修	30	1	萩原和幸・鷺津恭一郎
授業の目的・目標					
ファッションデザインに紐づくメニューに触れることで、創造力・表現力を高める。					
授業の概要					
自身の作品を題材にしたカメラワーク・染色技法を学びデザイン制作する実習を行う。					
成績評価の方法					
課題と学習意欲の評価とする。				課題	70%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
デジタルカメラ・染色材料					
授業内容・授業計画					
			時間数	時間数	
1. 実習①カメラワーク			10		
2. 実習②染色			20		
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					